



速報新聞

キマグレ

発行所

彦根東高等学校

新聞部

彦根市金亀町4番7号

試合まであと5日

気持ちを一つに



衣装を着て踊るチア部員



間近に控え、長くも短かつた応援練習もとうとう終盤

試合を

試合を5日後に控えた今日も応援団の練習が行われ、体育館はやる気のもった掛声と熱気に満ち溢れていた。多くの人が『完成に近づいてきた』と感じている応援について、取材した。

に突入した。応援団全員で練習するのは、今日を除けば24日の1日だけである。ずっと練習を見てこられた清水美春先生に練習状況を伺うと、「あとは気持ちを一つにするということだけです。全校練習で生徒全員と合わせていきたいです」と話された。また、応援団全体を監督しておられる太田好則先生は、「今すぐ試合が始まっても対応できる状態です。本番は傾斜がある上に、周囲に圧倒されたり試合に目がいったりしてしまわないかが心配です。プレッシャーになると思いますが、頑張ってください」と満足げな様子をしておられた。チアリーダーの矢田聖佳さ

「今まで、大変でした。やるからには賞を狙います」と気合い十分だ。指導をしていただいている村井三幸先生は「動きはみんな覚えているので、あとは声を出せるようにして、笑顔を大切にしたいです」とコメントしてくださいました。基礎は完成し、応用の段階に入っている模様だった。ブラスバンド部はBの方に来ていただき、当日も一緒に演奏していただく。平成14年度卒業生でホルン担当の村上千恵子さんは「応援団が有志で結成されたことに感動しました。よくまとまっています。当日は選手の力づけになると



応援団全体に向けて話をする

団長の永福くん

思います。初めての経験で大変だけど、頑張ってください」と話してくださいました。平成11年度卒業生でトロンボーン担当の永田祥子さんも「練習が熱心で本気なんだなと感じました。全国にいる卒業生も応援しています。高校生活は短いので、今を楽しんで下さい」とエールを送ってくださいました。曲の仕上がりについて木下希さん(28)は「練習する度に良くなっています」と話し、顧問の松島正宜先生は「完成に近づいてきています。大きな音で、かつ間違えないように演奏して、選手を力づけてほしいです」と話された。リーダーの堀内健志君(28)は「大分完成に近づいて、あとは細かいところを上げるだけです」と出来は上々な様子。勝木綾さん(25)も「完成度を高めるために細かい動き一つ一つに力を注いで、ブラスとチアと心を合わせて精一杯頑張りたいです」と応援の更なる向上を求めて頑張っている様子。試合まで残すところあと5日、応援も完成間近となり、練習にも一層磨きがかかっています。そして、試合当日もいつも通りのすばらしい応援を